

しまねの河川と海岸だより

令和4年12月号

発行：島根県土木部河川課

〔目次〕

- | | |
|--|------------|
| ◆ 令和3年度ダム工学会技術賞を受賞しました！ | 河川課 河川開発室 |
| ◆ 千本ダムが2022年日建連表彰土木賞・第6回インフラメンテナンス大賞国土交通大臣賞を受賞しました | 松江市上下水道局 |
| ◆ 2022年に開催した出前講座について | 河川課 防災グループ |



【新型コロナウイルス感染拡大防止のため】

- 3密（密閉空間・密集場所・密接場面）を避けましょう！

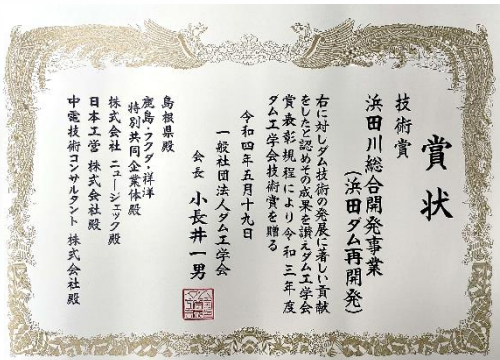


令和3年度ダム工学会技術賞を受賞しました！

河川課 河川開発室

一般社団法人ダム工学会では、毎年ダム工学会賞の表彰を行っています。この表彰は、ダム
の計画、設計、施工、または維持管理等に関して、ダム技術の発展に著しい貢献をなしたと認
められた画期的な事業または業務を実施した個人または団体に対し授与されるものです。

このたび、浜田川総合開発事業（浜田ダム再開発）が、令和3年度ダム工学会技術賞を受賞
しました。



受賞事業名：浜田川総合開発事業（浜田ダム再開発）

受賞者：島根県

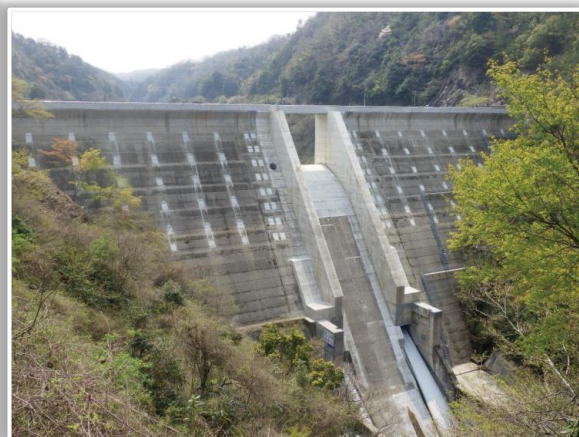
鹿島・フクダ・祥洋特別共同企業体

(株)ニュージェック、日本工営(株)、中電技術コンサルタント(株)

浜田ダム再開発工事では、既存施設を最大限に効率よく活用するために、ダム機能を維持しながら放流設備などの改造を行うことで、社会的影響を抑え、経済性、施工性を考慮した計画を策定しました。これに加えて、自然環境や下流域の洪水に対する安全性にも配慮して事業を進めました。このことは、今後計画されるダム再開発において参考となる事例であり、ダム技術の発展に大きな貢献があったと認められたことから、この度の受賞となりました。



施工中の浜田ダム
(平成29年9月撮影)



浜田ダム再開発工事完成
(令和2年4月撮影)

千本ダムが2022年日建連表彰土木賞・第6回インフラメンテナンス大賞国土交通大臣賞を受賞しました

松江市上下水道局

千本ダムは大正7年(1918年)に完成した粗石コンクリート重力式ダムで築100年を越えた今も現役の水道専用ダムとして機能し、2008年には国の登録有形文化財に指定されており、工事にあたっては歴史的価値を損なうことなく、工事中も水道水の供給を続けなければなりません。



そこで「堤体PSアンカー工法」という国内初の工法を用い、文化財保護と水道水の供給を両立させながら耐震補強工事を完成し、このことが評価され今回の受賞となりました。

日本建設業連合会のホームページでは、俳優の高橋克典さんが忌部町の千本ダムを訪れ、上定市長や工事所長から説明を受けてプロジェクトを紹介する動画が公開されていますので、ぜひご覧ください。

日本建設業連合

https://www.nikkenren.com/sougou/chikara_2022.html



「けんせつのチカラ」
で検索

また、建設後約100年が経過した今も松江市の水道用水の1/4の原水を供給し続けている千本ダムは、ダム健全度調査で耐震性の懸念が判明したため、堤体の耐震補強を実施することとなりました。

千本ダムは、表面が石積み式の風情ある佇まいの歴史的価値が高い構造物であり、国指定の登録有形文化財に指定されています。そのため国内初の堤体PSアンカー工法を採用し、水道水を供給し続けるとともに景観も変化させることなく、工期ならびに工費を従来工法より大幅に削減したうえで、今後さらに100年間利用できるよう補強工事を実施したことが評価され、松江市上下水道局がメンテナンス実施現場における工夫部門で**国土交通大臣賞を受賞**しました。(表彰式は令和5年1月13日(金)に開催される予定です)

※「インフラメンテナンス大賞」とは

インフラメンテナンス大賞は、日本国内における社会資本のメンテナンス(以下「インフラメンテナンス」という。)に係る優れた取組や技術開発を表彰し、好事例として広く紹介することにより、我が国のインフラメンテナンスに関わる事業者、団体、研究者等の取組を促進し、メンテナンス産業の活性化を図るとともに、インフラメンテナンスの理念の普及を図ることを目的として実施するものです。

2022年に開催した出前講座について



河川課 防災グループ

河川課では水災害についての出前講座を行っております。

県内で爆発的に新型コロナウイルスが蔓延した時期は中止せざるを得ませんでしたが、2022年は感染防止対策を徹底したうえで12回開催することができました。

近年多発する水災害に立ち向かうため、防災情報の取得方法等を講義させていただいておりますので、皆様からのご応募をお待ちしております。



2022年出前講座開催一覧

2月21日(月)	出雲市伊野コミュニティセンター	河川課、砂防課
6月5日(日)、12(日)	雲南市中野の里づくり委員会	河川課、砂防課、防災危機管理課
6月12日(日)	出雲市佐田地域防災会議	河川課、砂防課
6月21日(火)	出雲市立鱈淵小学校	河川課、砂防課
6月25日(土)	大田市町並み交流センター	河川課、砂防課
7月1日(金)	松江市玉湯町まがたま荘	河川課、砂防課、防災危機管理課
9月16日(金)	出雲市立河南中学校	河川課、砂防課、出雲県土整備事務所
9月16日(金)	松江市立湖南中学校	河川課
10月3日(月)	奥出雲町立布勢小学校	河川課、砂防課、仁多土木事業所
10月6日(木)	津和野町立日原小学校	河川課
12月18日(日)	松江市聴覚障がい者のためのセミナー	河川課、砂防課、防災危機管理課



2023年も感染防止対策を徹底し、出前講座を随時募集しますので、興味のある方は下記URLをご確認ください。

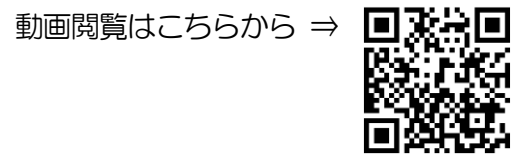
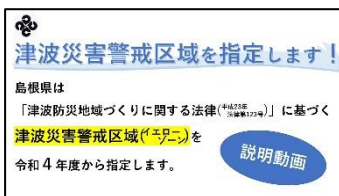
<https://www.pref.shimane.lg.jp/kasen/bousaijyouhou.html>

【編集後記】 河川課 企画調査グループ 福島

今月は令和4年最後のだよりの発行になります。今月号では、浜田川総合開発事業（浜田ダム再開発）の「ダム工学会技術賞」の受賞と、千本ダムの「日建連表彰土木賞」及び「インフラメンテナンス大賞」の国土交通大臣賞受賞の記事を掲載しました。

洪水調節、発電、水道用水の供給など私達の生活を支えてくれているダムの有効活用や老朽化の問題に対し、技術者が工夫を凝らし取り組んだ結果が今回の受賞に繋がったと感じています。関係者の皆様、受賞おめでとうございます。

話題は変わりますが、企画調査グループで津波災害警戒区域の指定に関する業務を行っています。（10月号の記事で事前公表の記事を掲載しています）。私の横に座っている野津主任技師が「もっと分かりやすく情報発信できないか」と色々考えた結果、しまねっこCHのYouTubeで動画を配信することにしました。今月から配信を開始し12/23時点で110回再生されています。この動画を作成した野津主任技師は1万回再生を目標に頑張っています。



https://www.youtube.com/watch?v=53QG7rtnZ_U

島根県河川課では、今後も引き続き、河川・海岸に関する話題を提供したいと思います。バックナンバーは河川課ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

また、出前講座には以下のホームページから申し込みますのでこちらもご利用ください。

編集者 島根県土木部河川課企画調査グループ

河川課 トップページ
<https://www.pref.shimane.lg.jp/kasen/>

河川課 しまねの河川と海岸だよりHP
<https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/tayori/>

出前講座申し込みHP
<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/demae/shimanedemaekouza/>

島根県水防情報システム：川の水位・雨量情報や監視カメラが見られます。

PC版 URL：<https://www.suibou-shimane.jp/pc>
スマホ URL：<https://www.suibou-shimane.jp/s>
携帯版 URL：<https://www.suibou-shimane.jp/m>

スマホ版

携帯版

川の水位情報（危機管理型水位計）：洪水時の川の水位が見られます。
PC・スマホ共通 URL：<https://k.river.go.jp/>